ごあいさつ

園長　　大山修司

聖愛幼稚園は、１９１６年（大正５年）に膳所基督同胞教会（現　日本キリスト教団膳所教会）を母体に創立され、以来、大津膳所の地で、地域に仕えつつ保育を実践してまいりました。

子どもたちが育って行くためには、ふさわしい拠点、「安全基地」が必要です。その場は、子どもたちに愛情がいっぱいに注がれ、安心できると共に、一人一人が自分の感じたことや気持ちを大切にしながらも、少しずつ世界を広げ、友だちの気持ちにも気づき、新しいことにも取り組もうとする意欲を育むところでなければなりません。

人は、成長していく過程において、だれもがその時々に、取り組み乗り越えていかなければならない課題をもつようになりますが、人間だれ一人として同じ人がいないように、その課題はそれぞれの発達の段階や個性によってちがいがあります。こうした子どもたちと歩んでいこうとする時、いかに早く、何ができるかということを基準にして子どもを当てはめるのではなく、子どもたちそれぞれにすでに与えられている生きる力の多様さや豊かさを汲み取り、「今の姿」をまず十分に受け入れてあげることが大切です。

愛され、成長、発達の道すじをみとることのできるまなざしに支えられると、子どもたちは、安心して自分で一歩を踏み出していこうとする主体的な姿勢をもつことができるようになります。

聖愛幼稚園では、自由遊びの時間をとても大切なものとして捉えておりますが、それは、じっくりとそれぞれの遊びに取り組む中で、想像の世界をふくらませ、自ら遊びをつくり出し、工夫していくことが、自分の考えをしっかりと持ち、表現できるようになるために必要だからです。子どもたちは、遊びの中から生きる力を学びとっていきます。ことに、幼児にとって遊ぶことは、人が呼吸することと同じくらい大切だと言っても過言ではありません。
生きることは遊ぶこと、遊ぶことは生きることです。
そして、十分に遊びを楽しむことができたという一つ一つの経験は、将来、人生をよりよく生きようとする力につながっていきます。

聖愛幼稚園は、一人一人の子どもたちに目のゆきとどく保育を行います。子どもたちが、自分は愛され、見つめられ守られていることを覚えることができるような環境作りのために努力してまいります。よりよき保育のためにご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

保育の方針

★すべての幼児が神さまに愛されている尊い人格であることを覚えて保育にあたります。

★健康で安全な生活ができるように努めるとともに、幼児に必須な遊びの生活を重んじ、からだを鍛えます。さまざまな経験を積み、自然の事象に心を動かし、正しい言葉を使えるようにします。音楽リズム、絵画、制作などにより豊かな感性を養い、その表現活動を通して積極的な明るい子どもとして成長できるように努めます。

★寛い心を育てて、国際的なさまざまな人とも仲良く交わる社会性の基盤を培います。そのために望ましい習慣や態度を身につけ、特に人の痛みがわかる心を培います。

保育の目標

★明るく元気な子ども
★自分で考え行動する子ども
★人の痛みがわかる子ども

幼稚園のあゆみ

1916 年(大正 5 年)に創立された県下最古の歴史に立つ私立幼稚園です。創立以来一貫してキリスト教精神の情操教育により、幼児の心身の調和ある発達をめざす保育に努めてきました。理想の保育を追求して、現在は定員 60 名の規模で保護者の理解と協力を得ることを大切にしています。

保育の時間等

★保育日は、月曜日から金曜日まで、休日は、土曜日、日曜日、祝日です。
★保育時間は、８：３０～９：００に登園し、月曜日は、１３：００、火、水、木、金は１４：００の降園です。昼食は、月曜日はおにぎりお弁当、火・木曜日はお弁当、水・金曜日は給食です。年少児の降園時間は、生活の様子を見ながら慣れるまでの間は、１１：３０になります。
★通園は、保護者の方にしていただきます。遠方で車を利用される時は、園の駐車場がありますのでご相談下さい。
★園とご家庭との連絡と共働が大切です。お子さんについての必要なご相談は、いつでも時間を作るようにしています。保育参観ではなく、一緒に園生活をしていただく機会として保育参加を大切にしています。
★保護者会は、全保護者で構成します。保護者としての学びや交流の活動をし、園の諸行事などに協力してくださっています。